

第二十四回 「九月は日奈久で山頭火」俳句入賞作品

【大賞】

悴みて悴みし子の手をつつむ

吉崎 和郎 (熊本市)

―一般の部―

【秀作】 稽古着の藍のおちつく今朝の秋

梶原マサ子 (宗像市)

生き下手の身に有り余る星月夜

山田 節子 (美里町)

秋潮の寄せる岸壁海難碑

真木 文子 (八代市)

【入選】 落花みな水俣湾の青に散る

佐藤さよ子 (熊本市)

八月の黙禱絶へ間無き戦火

白木 智子 (八代市)

月の出を待たされてをり椅子二つ

宇野木邦子 (熊本市)

ふる里の空はみ出して大花火

力 幸子 (菊陽町)

吹かれつつ案山子は里の土になる

畑田 孝子 (美里町)

―ジュニアの部―

【秀作】 秋の空なんもないけどそれがいい

黒木 謙心 (日奈久小五年)

雪解けて新たな命また一つ

上田 脩二 (竜北中三年)

【入選】 クシヤクシヤとなんの音かな落ち葉かな

梅津 淳平 (郡築小六年)

難しい洋服選び秋の風

中村 朱里 (竜北中三年)

セミの声部屋の隅まで聞こえけり

上村 右晋 (千丁中三年)

逆転の一打伸びてく夏の空

中本 颯太 (八代第二中三年)

部活動ともに夕日へ走る道

橋口 蒼生 (八代第一中二年)

【選者特選】

前山光則選

秋霖や深き眠りの日奈久宿

松瀬むつ江 (玉名市)

山下しげ人選

秋の葉 夕日のように温かい

本山陽依梨 (郡築小六年)



投句数 ジュニアの部617句 一般の部176句